

予防・健康づくりに関する大規模実証事業の実施

1 事業の目的

- 令和2年度から令和4年度まで、保険者等による適切な予防健康事業の実施を促進するため、以下の事業を実施。
 - ・予防・健康づくりの健康増進効果等のエビデンスを確認・蓄積するための実証事業
 - ・健康増進効果等のエビデンスが示されており、保険者等が取り組みやすい予防・健康づくりの介入方法に関するポジティブリストの整理
- 令和5年度は、ポジティブリストを継続的にアップデートするとともに、保険者等が活用できるように整理する。
- また、特定健診・保健指導の質向上のためのエビデンス収集のため、保険者等が被保険者や保健指導内容の詳細な情報を収集し、分析できるよう、健保組合等の主体的なエビデンスの蓄積を支援する。

2 事業の概要・スキーム・実施主体等

(1) ポジティブリストを継続的にアップデートするために、質の高い海外の予防・健康づくりに関する文献レビューのサマリーを作成するとともに、ポジティブリストを保険者等が活用できるようにするために、国内事例への適用に関する情報を学識者と収集・追加する。

(2) 特定健診・保健指導の質向上のためのエビデンス収集のためには、限られたNDBのデータだけでなく、より現場に近い保険者等が患者の詳細な情報や、保健指導の詳細な情報を収集し、自ら分析をすることが必要であるため、健保組合等の主体的なエビデンスの蓄積を支援する。

実施主体等

【実施主体】(1) 委託事業、(2) 保険者

【事業実績】

公募により選定された保険者
令和3年度：5 保険者
令和4年度：8 保険者

プラットフォーム事業

2020年度

- ・海外で健康増進効果が示されているトピックをリサーチして整理

2021年度

- ・2020年度に整理したトピックのうち①侵襲がなく、セルフモニタリング等で実施が比較的容易なトピック、②国内でも類似研究が実施されているトピックの観点から、7つのトピックに絞り込み
- ・うち1つのトピックについて、社会実装する上での留意点や経済性分析の結果を追記

2022年度

- ・社会実装する上での留意点や経済分析の結果を残り6つのトピックにも展開
- ・トピックごとに介入内容を統合・サマライズし、ポジティブリスト1.0として整理

2023年度-

ポジティブリスト1.0をもとにエビデンスの状況等を判断し、保険者等が活用しやすいリストとして公開予定

ポジティブリスト1.0